



### 適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	有機銅を含む農薬の総使用回数
芝	雪腐病	20kg/10a	根雪前	3回以内	散布	5回以内
パセリ (露地栽培)	軟腐病		は種前 生育期(但し 収穫 90日前まで)	1回	土壌表面 散 布	2回以内(は種前 は1回以内、は種 後は1回以内)
シクラメン	葉腐細菌病	1鉢(用土約1ℓ) 当り5~10g	鉢上げ時又 は鉢替え時		土壌混和	5回以内





## 効果・薬害等の注意

- 芝生の雪腐病防除に使用する場合は、根雪前～根雪直前に散布する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治療法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。

水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

- PRTR法
- 火災時は適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
  - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。
  - 移送取扱いは、ていねいに行う。

